

🍀 環境経営レポート 🍀

エコアクション21

〔 2023年 1月～2023年 12月 〕

発行日 ： 2024年 5月 1日



岩崎弥太郎像（高知県安芸市井ノ口）



有限会社 横山建設

YOKOYAMA Construction Co, Ltd

〒784-0051 高知県安芸市井ノ口甲2549番地

目 次

	ページ
1. 組織の概要	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2～3
3. 環境経営方針	4
4. 環境管理組織体制	5
5. 環境経営活動への取組の全体概要	6
6. 環境経営目標	7～8
7. 環境経営活動計画	9
8. 環境経営目標の実績	10～15
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価	16～21
10. 次年度の取組内容	
(1) 環境経営目標	22～23
(2) 環境経営活動計画	24
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	25～26
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	27

発 行 日 : 2024年 5月 1日

発行責任者 : 環境管理責任者 横山公人

次回発行予定 : 2025年 5月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 横山建設

【代表者氏名】 代表取締役 横山公人

【所在地】

本社・倉庫 高知県安芸市井ノ口甲2549番地

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 代表取締役 横山公人

連絡先担当者 代表取締役 横山公人

連絡先 TEL: 0887-34-2977

FAX: 0887-35-5595

E-mail: yoko-ken0080@m5.dion.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業（主に〇〇等の工事を行っています。）

建設業許可 許可番号 高知県知事許可（特-2）第878号

許可年月日 2020年 12月 9日

建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業

【事業規模】

設立年月日 1955年 6月 28日

資本金 2,000万円

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高 (千円)	397,000	274,000	387,000	258,000
従業員数 (名)	17	16	16	15
事務所延べ床面積 (㎡)	74.6	74.6	74.6	74.6
倉庫床面積 (㎡)	460.4	460.4	460.4	460.4

従業員数は、5月 1日現在

敷地：個人所有

建物：会社所有

会計年度 1月1日 ～ 12月31日

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 横山建設 全社

本社 高知県安芸市井ノ口甲2549番地（常駐者：15名）

対象事業：建設業（土木工事業、とび・土工工事業）

【レポートの対象期間】

2023年1月 ～ 2023年12月

【環境経営レポートの発行日】

2024年5月1日

【作成責任者】

環境管理責任者 横山 公人

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項 目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社横山建設社は、高知県安芸市を中心に土木建設業を営んでいます。地域の自然環境を守り、建設工事におけるあらゆる場面において環境保全を意識し、継続的改善による環境経営を行なっています。

環境経営システムの継続的な改善を行うことにより安定的な経営基盤を構築し、日々の事業活動を通して地域社会への貢献及び環境負荷の低減を推進します。

ふるさと安芸市が元気で環境豊かな街となるよう、岩崎弥太郎のように志しを高く持ちまい進みます。

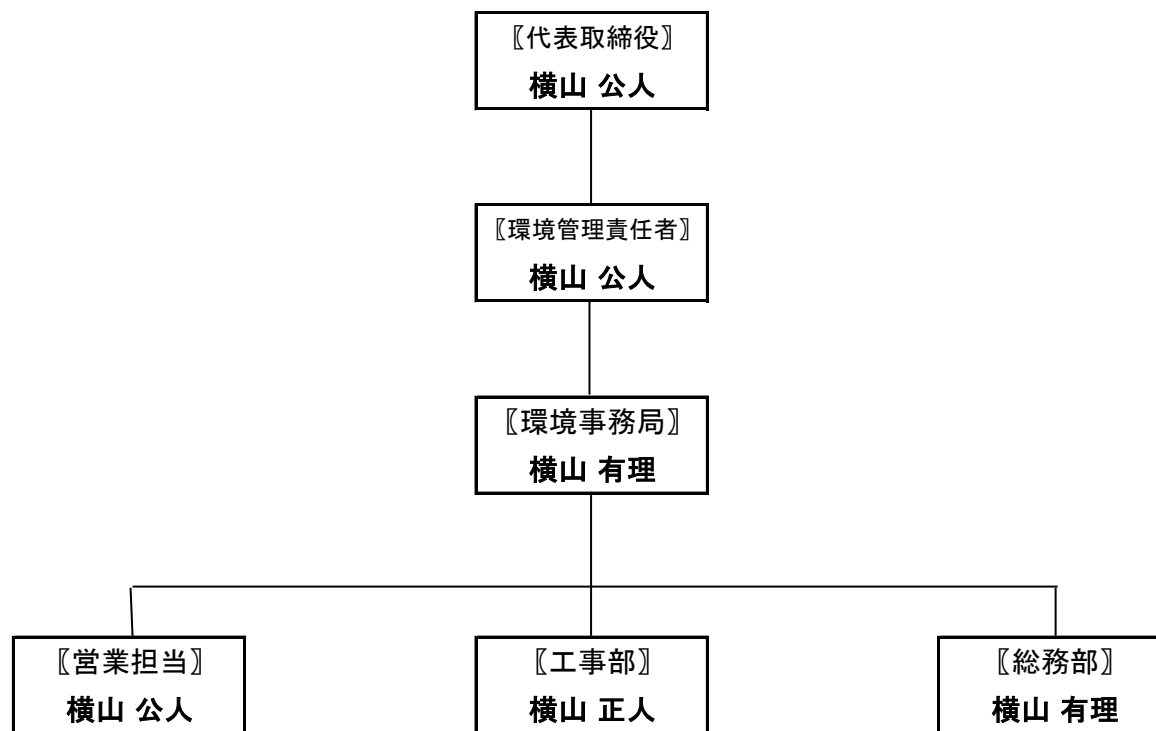
【基本方針】

1. 建設工事において、環境負荷の少ない施工を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルを行います。
5. 事務所における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 建設現場における化学物質排出について配慮します。
7. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
8. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
9. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。
10. ロードボランティアや清掃活動への参加など、地域の環境美化に努めます。
11. 経営基盤の安定化に欠かせない人材の育成・確保、利益の確保を図ります。
12. 地域の宝、将来を担う子どもたちの健全育成活動に協力します。

2024年 4月 1日

有限会社 横山建設
代表取締役

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境活動計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション2.1ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

＜全体概況＞

- 燃料使用量については、ガソリンは環境目標に対して1割増、軽油は3割弱の削減、灯油の使用ゼロでした。
- 電力使用量については、環境目標に対して3割増加しました。
- 二酸化炭素排出量は、軽油使用量の削減が主な要因となり、2割弱の削減ができました。
- 燃料使用量の削減については、低燃費車・エコモード搭載車への代替を進めています。
- 電力使用量の削減については、こまめな消灯や空調の適正使用など細かな努力の積み重ねを行います。
- 廃棄物については、これまで通り分別・再資源化を促進し、削減と適正処理を行います。
- 受注工事全般において、環境負荷の低減に取り組みます。
- 環境美化活動についても、ロードボランティア活動（10回）、近隣地域の環境美化活動（適宜）を行います。

＜物質フロー＞（2023年度）

《INPUT》

燃料：91,162L

電力：26,066kWh

用水：751m³

原材料：5,187t

《有限会社横山建設の事業活動》

林道新設工事	2件
砂防工事	1件
橋梁補修工事	1件
河川改良・改修工事	3件
ほ場整備工事	1件
その他	6件
完成工事高	25,829万円

《OUTPUT》

CO₂：244,675kg-CO₂

排水：751m³

廃棄物：1,020t

6. 環境経営目標

(1) 単年度目標 (2023年度)

項 目	総量・原単位	単 位	基準年 5力年平均 2018-2022	2023年度 目 標 2023.1-2023.12
売 上 高		百万円	318	300
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,152	14,400
	原単位	(ℓ/百万円)	48	48
軽油使用量	総量	(ℓ)	101,973	96,870
	原単位	(ℓ/百万円)	321	323
灯油使用量	総量	(ℓ)	728	710
	原単位	(ℓ/百万円)	2	2
電力使用量	総量	(kWh)	20,048	19,450
	原単位	(kWh/百万円)	63	65
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	309,976	297,580
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	975	992
用水使用量	総量	(m ³)	577	560
	原単位	(m ³ /百万円)	2	2
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	5	4
	原単位	(kg/百万円)	0	0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	966	940
	原単位	(t/百万円)	3	3
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(16件/16件)	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(令和元年度実績)
令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0. 528(kg-CO₂ /kWh)を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事
 ○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 ○低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 ○型枠、工事看板への間伐材の使用
 ○濁水防止対策の実施
 ○法面緑化工事の実施

(2) 中長期目標

項 目	総量・原単位	単 位	基準年 5カ年平均 2018-2022	2023年度 目 標 2023.1-2023.12	2024年度 目 標 2024.1-2024.12	2025年度 目 標 2025.1-2025.12
売 上 高		百万円	318	300	300	300
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,152	14,400	14,110	13,820
	原単位	(ℓ/百万円)	48	48	47	46
軽油使用量	総量	(ℓ)	101,973	96,870	94,940	93,000
	原単位	(ℓ/百万円)	321	323	316	310
灯油使用量	総量	(ℓ)	728	710	690	680
	原単位	(ℓ/百万円)	2	2	2	2
電力使用量	総量	(kWh)	20,048	19,450	19,250	19,060
	原単位	(kWh/百万円)	63	65	64	64
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	309,976	297,580	291,630	285,670
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	975	992	972	952
用水使用量	総量	(m ³)	577	560	550	550
	原単位	(m ³ /百万円)	2	2	2	2
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	5	4	4	4
	原単位	(kg/百万円)	0	0	0	0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	966	940	930	920
	原単位	(t/百万円)	3	3	3	3
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99	100	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(16件/16件)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

7. 環境経営計画

期 間 : 2023年 1月 ~ 2023年 12月

項 目		活 動 内 容	担当者	摘 要
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○アイドリングストップ	現場代理人	
		○始業前点検の実施	現場代理人 安全運転管理者	
		○過積載防止（車両）	現場代理人	
		○乗り合わせ・積み合わせ（車両）	現場代理人	
		○アクセル80%（重機）	現場代理人	
		○エコモード設定（重機）	現場代理人	
	電力使用量 削減	○不要な照明の消灯及び空調の停止	横山 有理	
		○OA機器の電源OFF		
		○空調クリーニングの定期実施		
		○節電ステッカーによる注意喚起		
用水使用量削減 （排水量削減）		○節水の啓発	横山 有理	
		○漏水のチェック		
廃棄物削減	一般廃棄物	○分別を徹底し、資源ごみの活用	横山 有理 現場代理人	
		○両面コピーや裏紙の活用		
		○ペーパーレスの促進		
	産業廃棄物	○使用量に応じた資材の購入	現場代理人	
		○できるだけ再資源化処理業者に委託する		
環境負荷の少ない工事		○現場の粉塵、水質汚濁対策	現場代理人	
		○環境性能に優れた機械・車両の使用		
		○リサイクル製品、間伐材の使用		
		○施工の効率化		
環境美化活動		○ロードボランティアの実施	横山 公人	
		○地域の環境美化		
地域貢献・産業振興活動		○インターシップの受け入れ	横山 公人	
		○消防団活動		
		○地域見守り活動		
健全育成活動		○防犯、あいさつ運動	横山 公人	
教育訓練		○緊急時対応訓練	横山 公人	
		○環境経営目標、環境経営計画		

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項 目	総量・原単位	単 位	基準年 5力年平均 2018-2022	2023年度 目 標 2023.1-2023.12	2023年度 実 績 2018.7-2019.6	実績値／目標値 (%)	評 価
売 上 高		百万円	318	300	258		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,152	14,400	16,484	114.47	△
	原単位	(ℓ/百万円)	48	48	64		
軽油使用量	総量	(ℓ)	101,973	96,870	74,678	77.09	○
	原単位	(ℓ/百万円)	321	323	289		
灯油使用量	総量	(ℓ)	728	710	0	0	○
	原単位	(ℓ/百万円)	2	2	0		
電力使用量	総量	(kWh)	20,048	19,450	26,066	134.02	×
	原単位	(kWh/百万円)	63	65	101		
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	309,976	297,580	244,675	82.22	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	975	992	948		
用水使用量	総量	(m ³)	577	560	751	134.11	×
	原単位	(m3/百万円)	2	2	3		
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	5	4	76,124	1,903,090.00	×
	原単位	(kg/百万円)	0	0	295		
産業廃棄物排出量	総量	(t)	966	940	943	100.32	○
	原単位	(t/百万円)	3	3	4		
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99	100	100	100	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(16件/16件)	100	100(15件/15件)	100	○
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	100	○

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(令和元年度実績)
令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0. 528(kg-CO₂ /kWh)を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事
○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
○低騒音、排出ガス対策型重機の使用
○型枠、工事看板への間伐材の使用
○濁水防止対策の実施
○法面緑化工事の実施

* 3. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

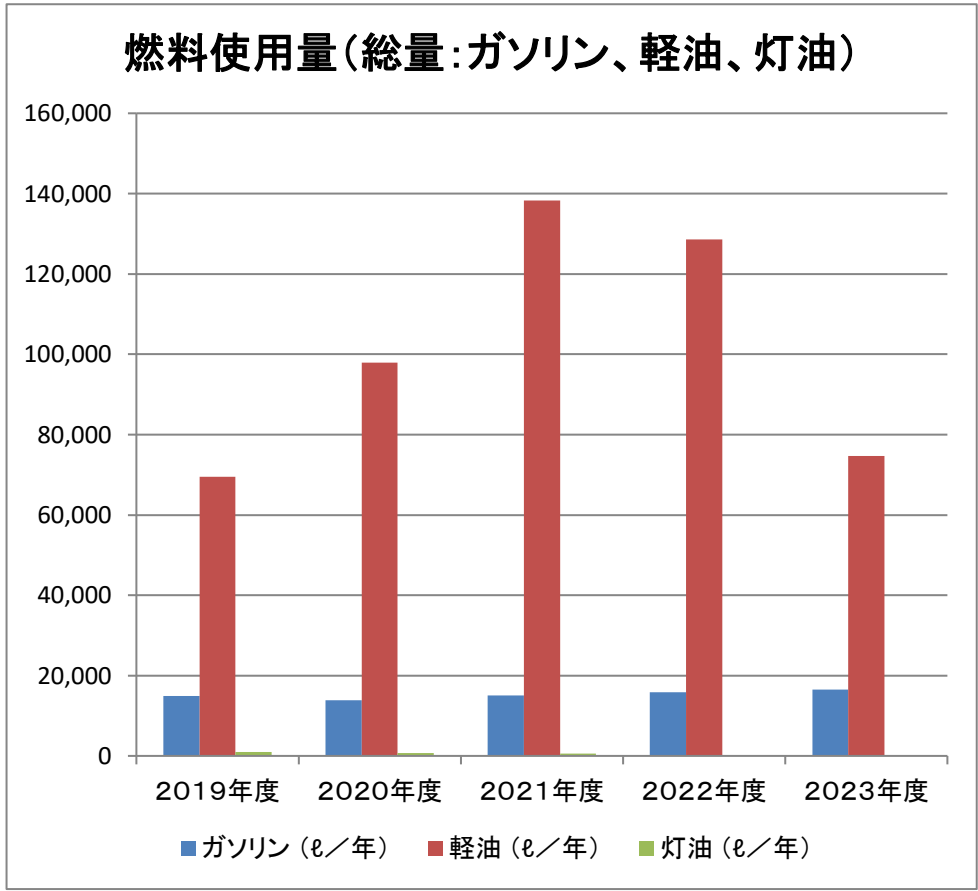
ガソリン : ディーゼル車の代替えがガソリン車になった。長距離移動の増加。
電 力 : 事務所での事務業務増加による冷暖房使用の増加。現場事務所での電気使用の発生。
用 水 : 集計作業の不備により過去の使用料に差異が生じたため。
一般廃棄物 : 道路・河川の維持業務受注により、木くずを産廃ではなく一廃として処分する必要が生じた。

＜過去の実績＞

項 目	総量・原単位	単 位	基準年 5力年平均 2018-2022	2019年度 実 績 2019.1-2019.12	2020年度 実 績 2020.1-2020.12	2021年度 実 績 2021.1-2021.12	2022年度 実 績 2022.1-2022.12
売 上 高		百万円	318	232	397	274	387
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,152	14,959	13,894	15,009	15,879
	原単位	(ℓ/百万円)	48	64	35	55	41
軽油使用量	総量	(ℓ)	101,973	69,489	97,868	138,335	128,644
	原単位	(ℓ/百万円)	321	300	247	505	332
灯油使用量	総量	(ℓ)	728	982	772	565	201
	原単位	(ℓ/百万円)	2	4	2	2	1
電力使用量	総量	(kWh)	20,048	17,818	19,614	20,029	25,021
	原単位	(kWh/百万円)	63	77	49	73	65
CO ₂ 排出量	総量	(kg- CO_2)	309,976	224,664	297,011	403,709	382,453
	原単位	(kg- CO_2 /百万円)	975	968	748	1473	988
用水使用量	総量	(m^3)	577	968	617	614	576
	原単位	(m^3 /百万円)	2	4	2	2	1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	5	4	4	4	4
	原単位	(kg/百万円)	0	0	0	0	0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	966	1,219	948	697	967
	原単位	(t/百万円)	3	5	2	3	2
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99	97	100	91	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(16件/16件)	100(17件/17件)	100(17件/17件)	100(16件/16件)	100(16件/16件)
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10	10

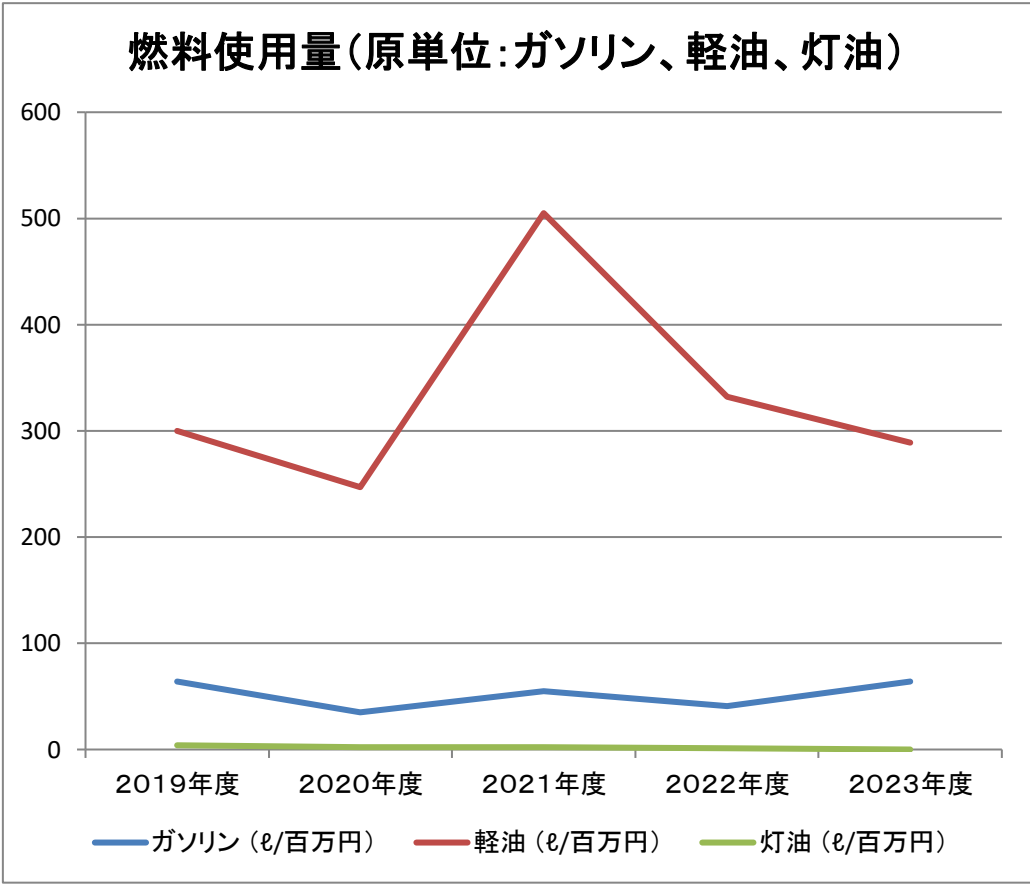
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年 度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2019年度	14,959	69,489	982
2020年度	13,894	97,868	772
2021年度	15,009	138,335	565
2022年度	15,879	128,644	201
2023年度	16,484	74,678	0



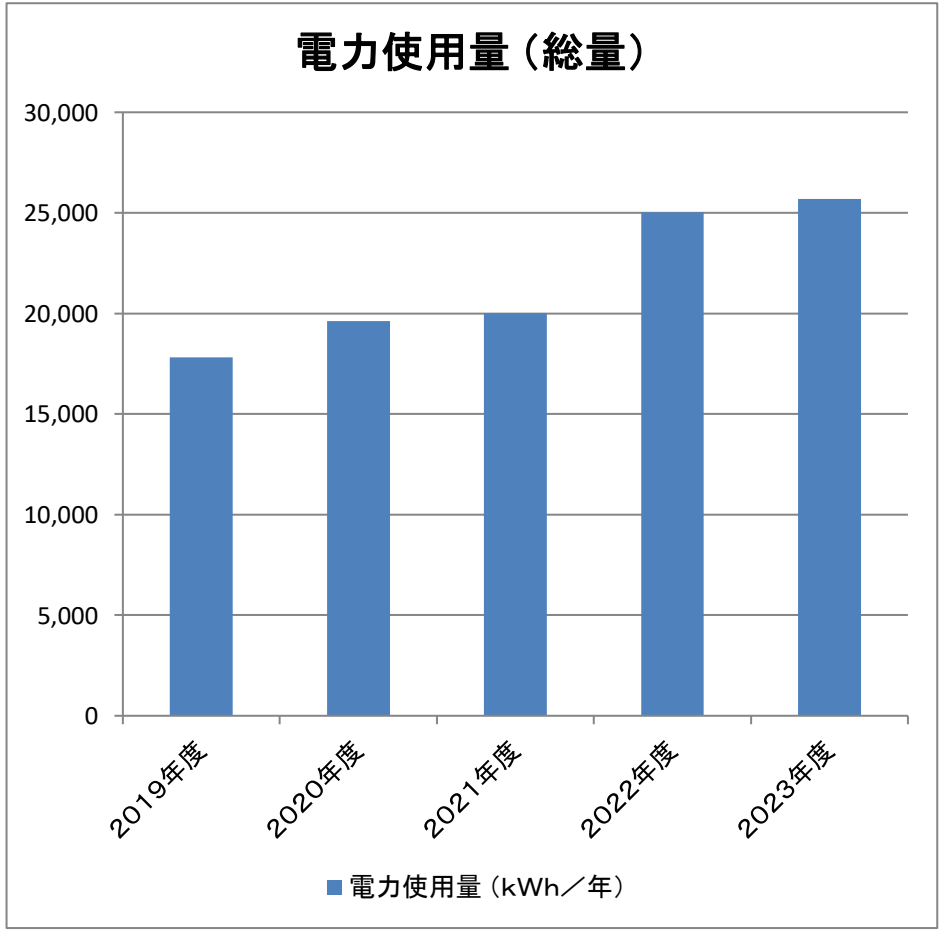
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年 度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2019年度	64	300	4.0
2020年度	35	247	2.0
2021年度	55	505	2.0
2022年度	41	332	1.0
2023年度	64	289	0.0



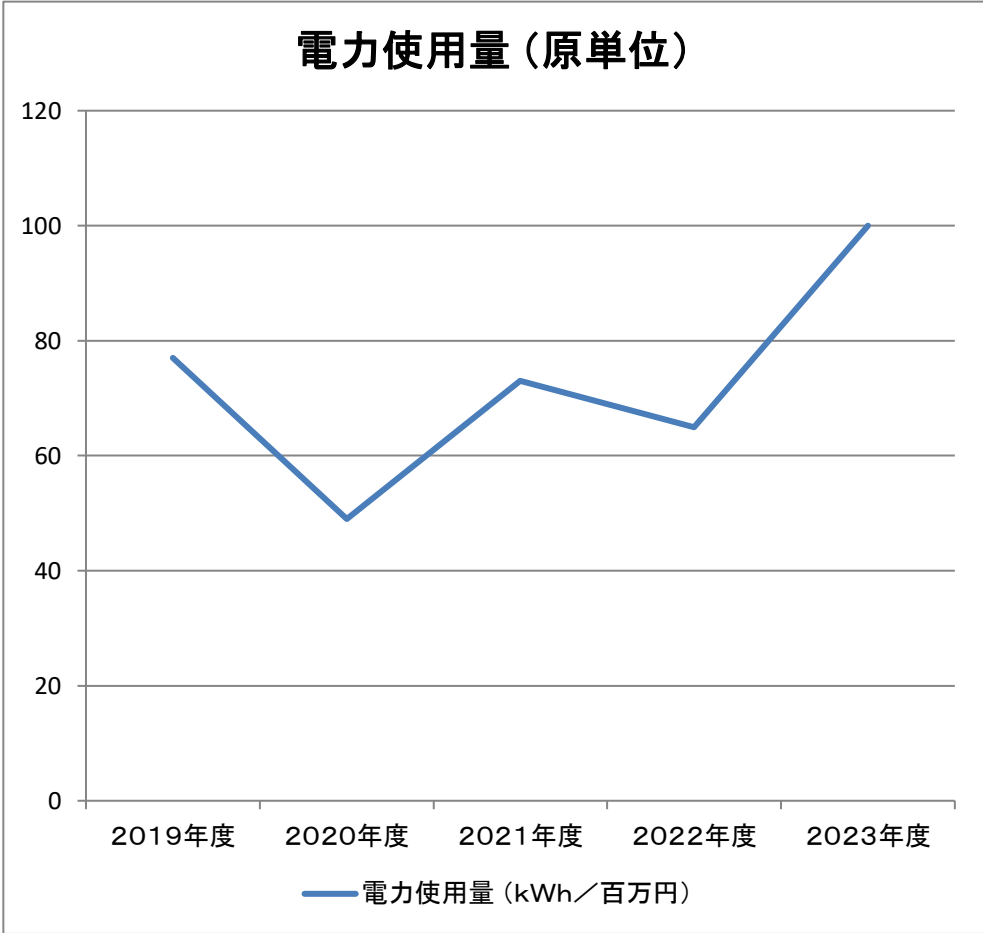
電力使用量（総量：kWh／年）

年 度	電力使用量 (kWh／年)
2019年度	17,818
2020年度	19,614
2021年度	20,029
2022年度	25,021
2023年度	25,694



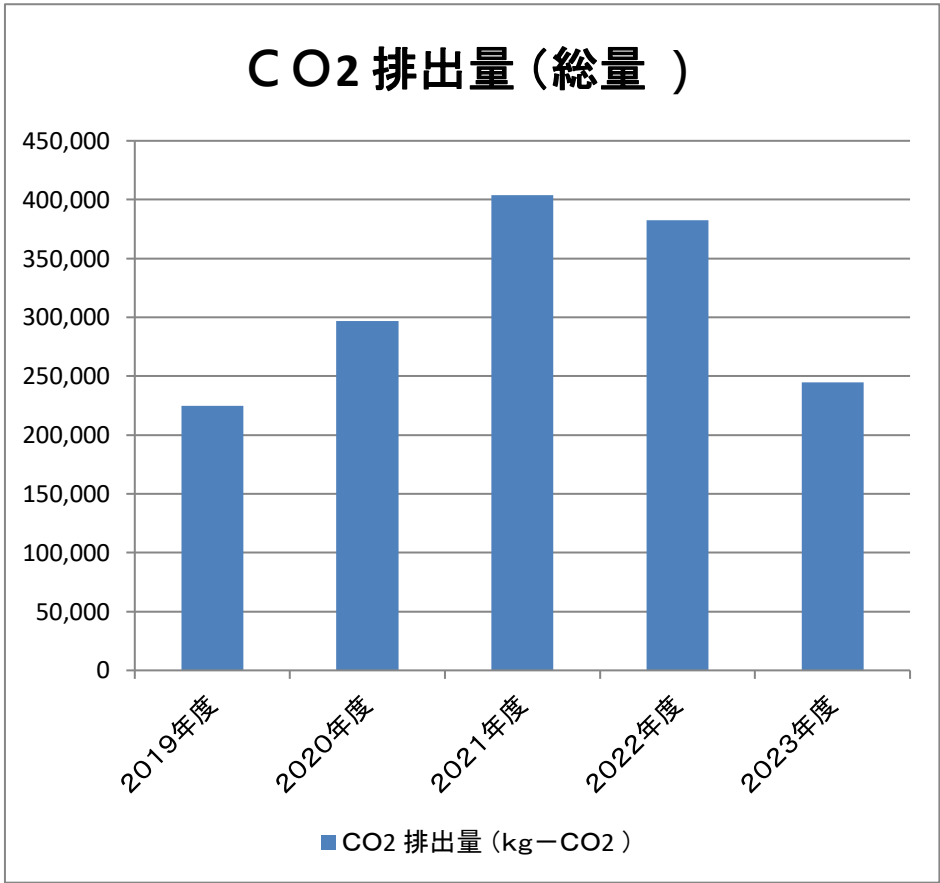
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年 度	電力使用量 (kWh／百万円)
2019年度	77
2020年度	49
2021年度	73
2022年度	65
2023年度	100



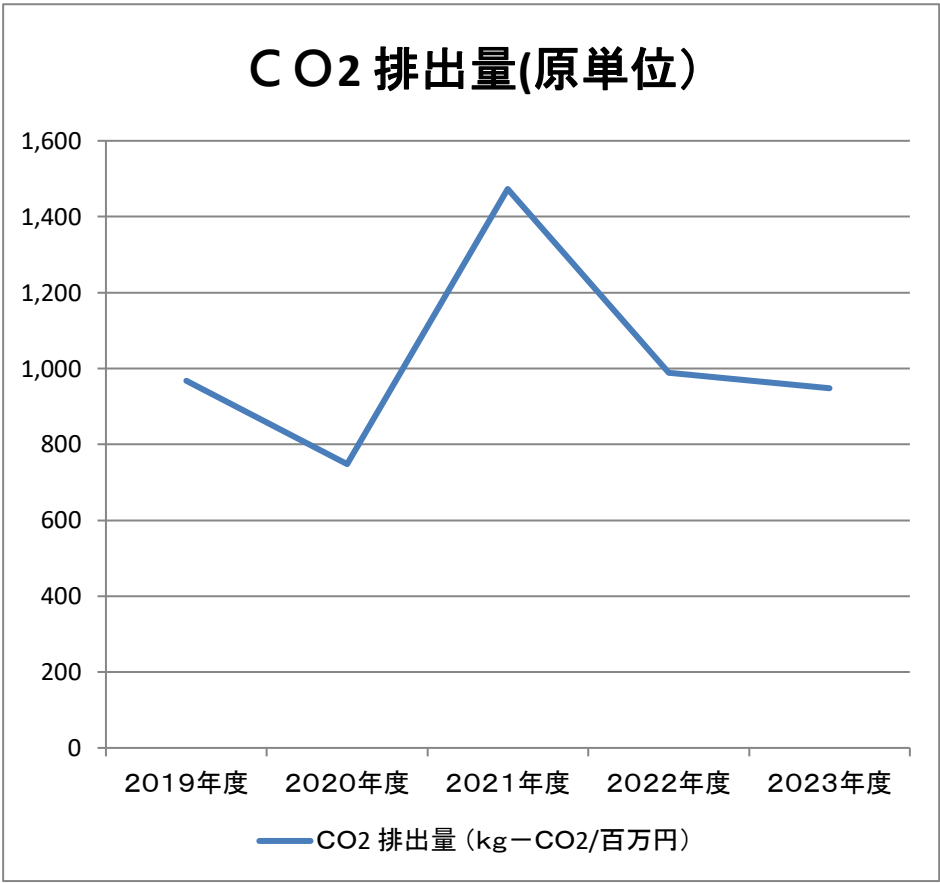
CO₂ 排出量（総量：（kg-CO₂）

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2019年度	224,664
2020年度	297,011
2021年度	403,709
2022年度	382,453
2023年度	244,675



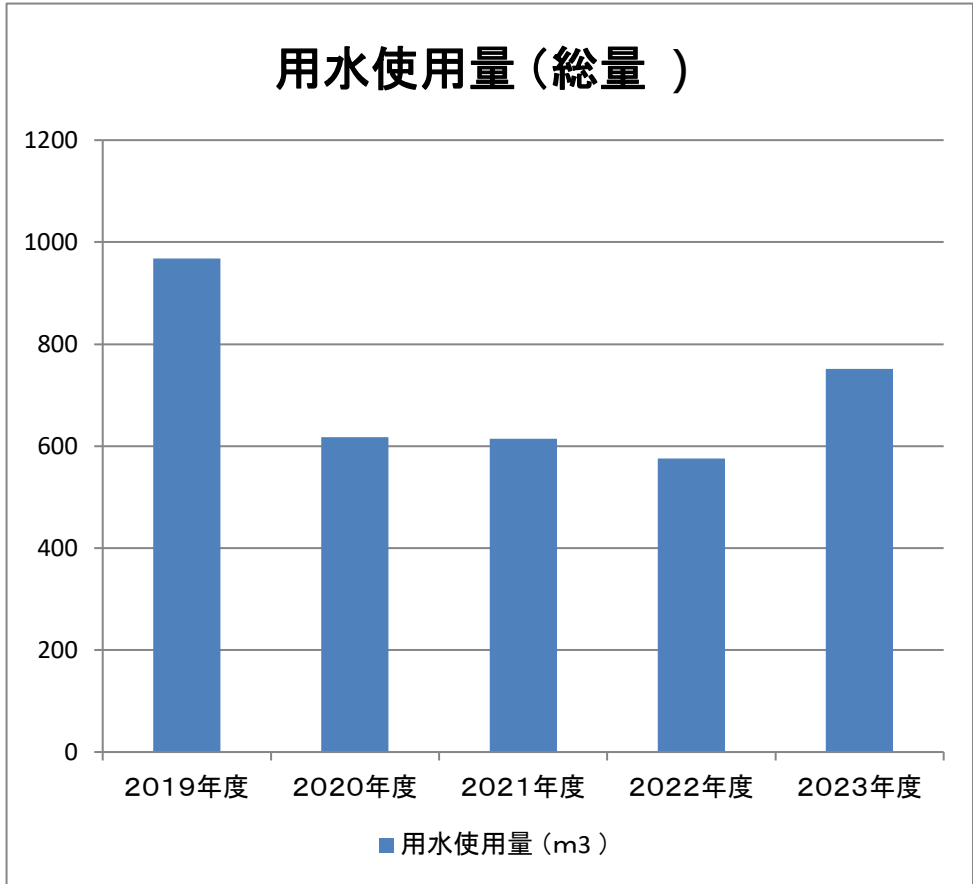
CO₂ 排出量（原単位：kg-CO₂/百万円）

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2019年度	968
2020年度	748
2021年度	1,473
2022年度	988
2023年度	948



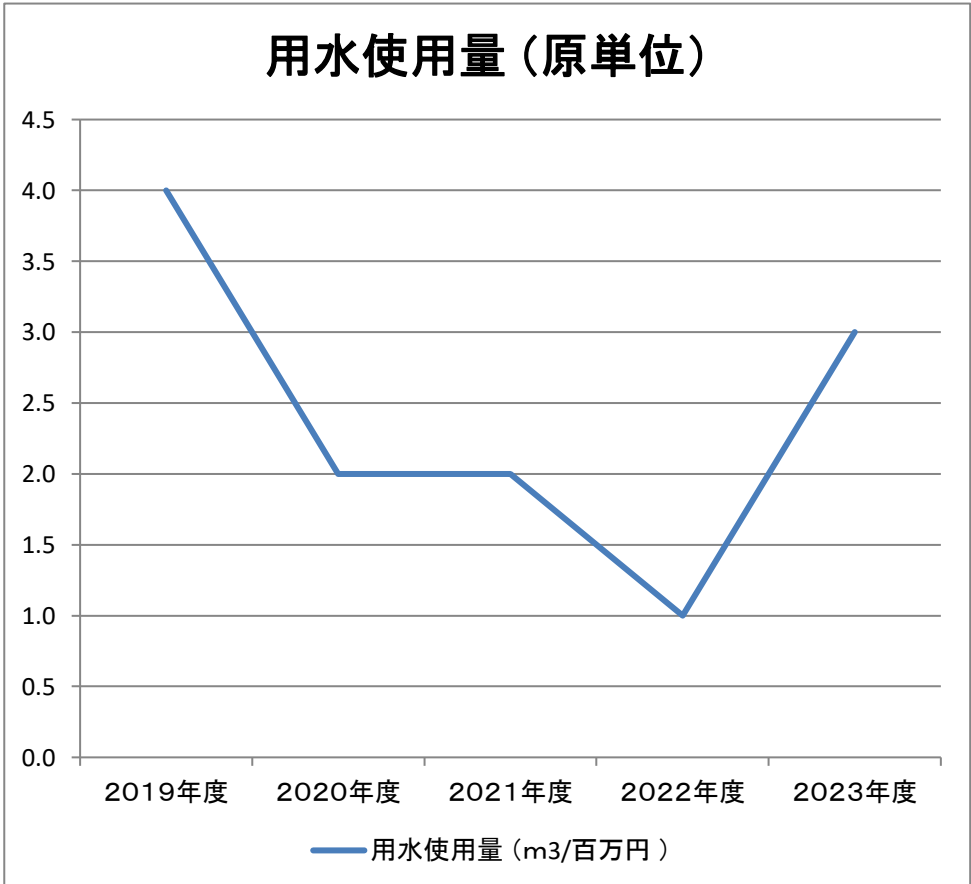
用水使用量（総量：m³）

年 度	用水使用量 (m ³)
2019年度	968
2020年度	617
2021年度	614
2022年度	576
2023年度	751



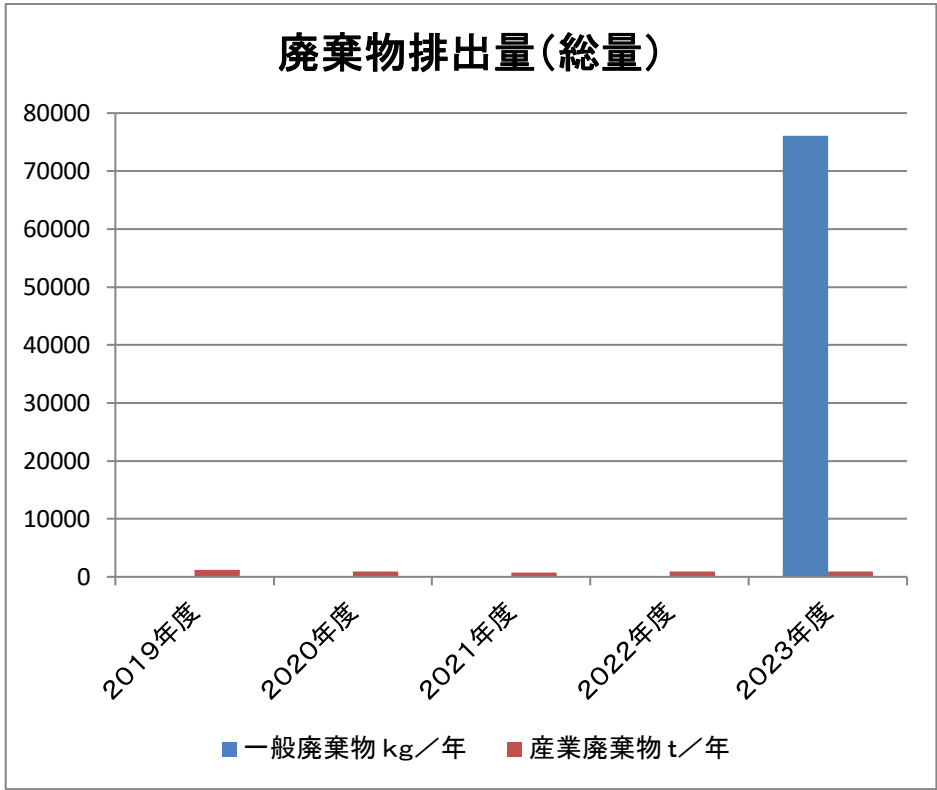
用水使用量（原単位：m³/百万円）

年 度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	4.0
2020年度	2.0
2021年度	2
2022年度	1
2023年度	3



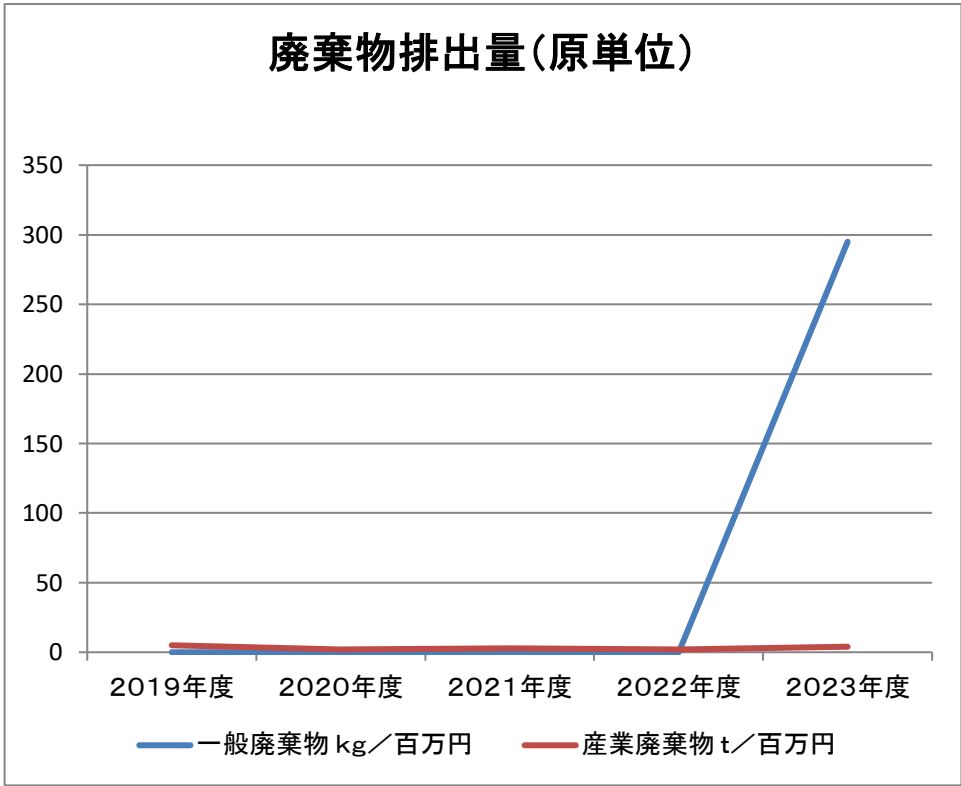
廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)
 単位:一般廃棄物 kg／年
 単位:産業廃棄物 t／年

年 度	一般廃棄物 kg／年	産業廃棄物 t／年
2 0 1 9 年度	4	1,219
2 0 2 0 年度	4	948
2 0 2 1 年度	4	697
2 0 2 2 年度	4	967
2 0 2 3 年度	76124	943



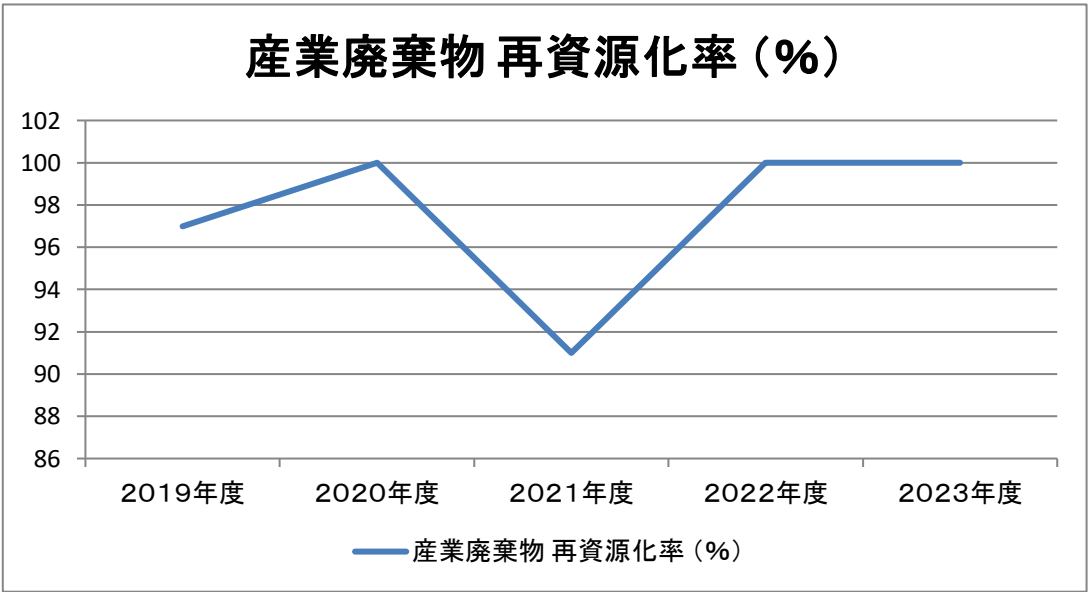
廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)
 単位:一般廃棄物 kg／百万円
 単位:産業廃棄物 t／百万円

年 度	一般廃棄物 kg／百万円	産業廃棄物 t／百万円
2 0 1 9 年度	0	5
2 0 2 0 年度	0	2
2 0 2 1 年度	0	3
2 0 2 2 年度	0	2
2 0 2 3 年度	295	4.0



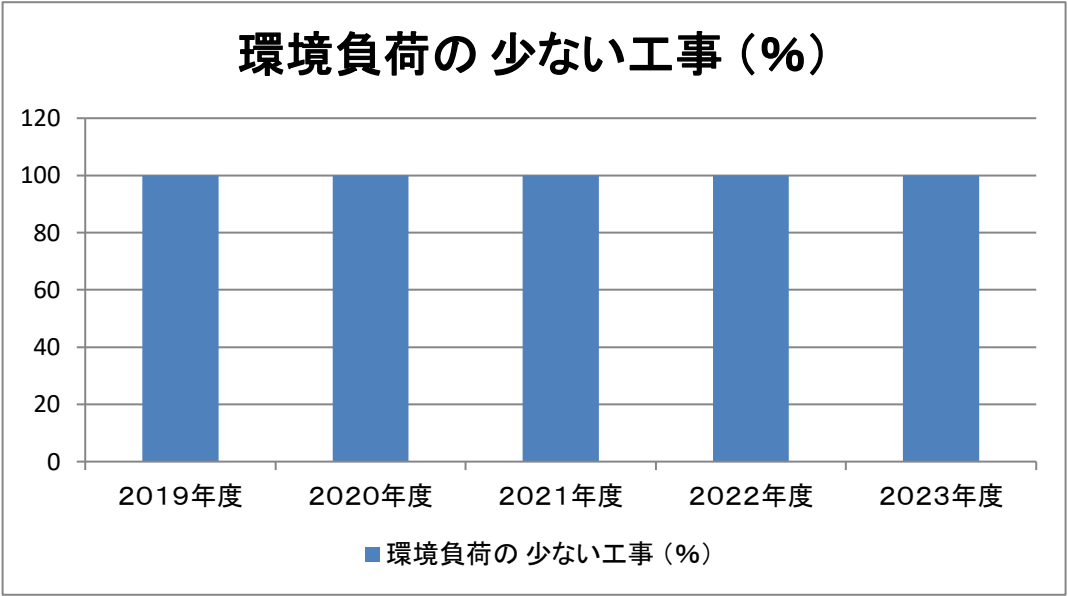
産業廃棄物再資源化率（％）

年 度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2 0 1 9 年度	97
2 0 2 0 年度	100
2 0 2 1 年度	91
2 0 2 2 年度	100
2 0 2 3 年度	100



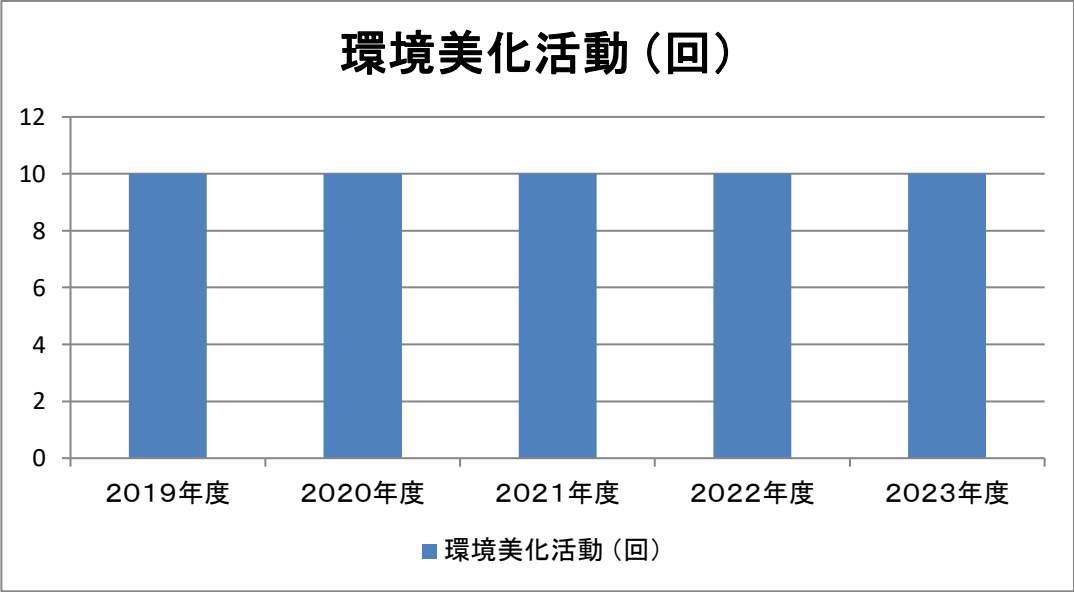
環境負荷の少ない工事(%)

年 度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



環境美化活動(回)

年 度	環境美化活動 (回)
2019年度	10
2020年度	10
2021年度	10
2022年度	10
2023年度	10



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期 間：2023年 1月 ～ 2023年 12月

項 目		活 動 内 容	取 組 結 果	評 価	見 直 し
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○アイドリングストップ	実施できている	計画目標達成に向け実施できている。	継続して実施する
		○始業前点検の実施	実施できている		
		○過積載防止（車両）	実施できている		
		○乗り合わせ・積み合わせ（車両）	実施できている		
		○アクセル80%（重機）	実施できている		
		○エコモード設定（重機）	実施できている		
	電力使用量 削減	○不要な照明の消灯及び空調の停止	実施できている	計画に沿って実施できているが、エアコンの使用に関しては削減より体調を優先せざるを得ない。	継続して実施する
		○OA機器の電源OFF	実施できている		
		○空調クリーニングの定期実施	実施できている		
		○節電ステッカーによる注意喚起	実施できている		
用水使用量削減 （排水量削減）		○節水の啓発	実施できている	計画通りに実施できている。	継続して実施する
		○漏水のチェック	実施できている		
廃棄物削減	一般廃棄物	○分別を徹底し、資源ごみの活用	実施できている	分別の徹底は実施できしており、資源ごみは地域の活動資金作りに貢献している。ページ指定等のミスプリントが見受けられるが、裏紙の活用でカバーしている。印刷物の方が便利なケースもあり、ペーパーレス化への検討事項	継続して実施する
		○両面コピーや裏紙の活用	実施できている		
		○ペーパーレスの促進	取り組んでいるが更なる取り組みの余地あり		
	産業廃棄物	○使用量に応じた資材の購入	実施できている	計画通りに実施できている。	継続して実施する
		○できるだけ再資源化処理業者に委託する	実施できている		
環境負荷の少ない工事		○現場の粉塵、水質汚濁対策	実施できている	受注工事全般において環境負荷の少ない施工に取り組んでいる。	継続して実施する
		○環境性能に優れた機械・車両の使用	実施できている		
		○リサイクル製品、間伐材の使用	実施できている		
		○施工の効率化	実施できている		
環境美化活動		○ロードボランティアの実施	実施できている	ロードボランティアをはじめ、関係団体の活動への参加や通学路、学校・保育などの環境美化にも説教的に取り組む。	継続して実施する
		○地域の環境美化	実施できている		
地域貢献・産業振興活動		○職場体験の受け入れ	今期は機会がなかったが体制は整っている	弱体化している地域活動を活性化させ、地域を担う人材育成につなげることは、環境経営上有効性がある。	継続して実施する
		○消防団活動	実施できている		
		○地域見守り活動	実施できている		
健全育成活動		○防犯、あいさつ運動	実施できている	不審者情報増加により防犯強化が必要。	継続して実施する
教育訓練		○緊急時対応訓練	実施できている	BCPやISOと協働しながら実施。	継続して実施する
		○環境経営目標、環境経営計画	実施できている		

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



社用車の更新

2020年7月に社用車1台を低燃費車に更新しました。
燃料使用量は従来の10km/Lから16km/Lに向上し、
ガソリン使用量が削減されています。
アイドリングストップ搭載



4tダンプの更新

2019年11月に4tダンプ1台を更新しました。
従来型より更に低燃費・排ガスクリーン化。
アイドリングストップ搭載
衝突軽減装置等安全装備も充実。



軽ダンプの更新

2022年12月に軽ダンプ1台を更新しました。
従来型より更に低燃費化。
アイドリングストップ搭載
衝突軽減装置等安全装備も充実。



重機の更新

2022年8月に重機1台を更新しました。
従来型より低燃費・排ガスクリーン化。
エコモード・オートアイドル搭載
超低騒音型、排ガス2011年基準適合車
快適性、安全性が向上しオペレーターの負担軽減。



2020年10月に重機1台を更新しました。
従来型より低燃費・排ガスクリーン化。
エコモード・オートアイドル搭載
超低騒音型、排ガス2011年基準適合車
快適性、安全性が向上しオペレーターの負担軽減。



重機の更新

2020年6月に重機1台を更新しました。
従来型より低燃費・排ガスクリーン化。
エコモード・アイドリングストップ搭載
超低騒音型、排ガス2014年基準適合車
360度カメラと大型液晶モニター採用により安全性が大幅向上。
快適性が向上しオペレーターの負担軽減。



2020年9月に重機1台を更新しました。
従来型より低燃費・排ガスクリーン化。
エコモード・アイドリングストップ搭載
超低騒音型、排ガス2014年基準適合車
360度カメラと大型液晶モニター採用により安全性が大幅向上。
快適性が向上しオペレーターの負担軽減。



2020年9月に重機1台を更新しました。
従来型より低燃費・排ガスクリーン化。
エコモード・オートアイドル搭載
超低騒音型、第3次排ガス対策型

(2) 電力使用量削減



本社事務所 LED照明設置

本社事務所の照明をLED化。
休憩時間や不在時には消灯し節電に努めています。



節電シール貼付

本社事務所内に節電シールを貼付け、啓発を図っています。



2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

本社事務所及び敷地内の水道蛇口に節水シールを貼付け啓発を図っています。

3. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減



ごみの分別の徹底

ごみの分別箱を設置し、再資源化を心掛けています。
社内集積場所



段ボール・紙類 集積場所

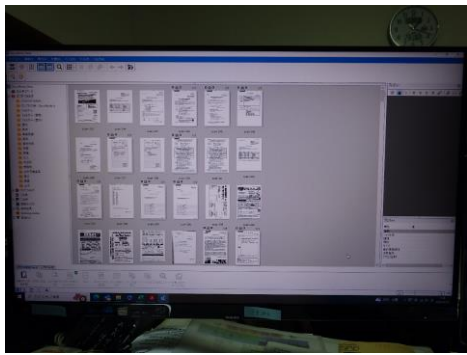


缶・ペットボトル・瓶 等集積場所



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施することにより、年間でコピー用紙の使用量を4.3%削減しました。



FAXはパソコン画面で確認

受信したFAXは、パソコン画面で確認し、必要な物だけをプリントアウトしています。

(2) 産業廃棄物



産業廃棄物分別の徹底

産業廃棄物は分別し、処分場に運搬します。
再資源化率が向上するように工事現場では努力しています。



4. 環境負荷の少ない工事



超低騒音、排出ガス対策型重機の使用

所有する全ての重機が超低騒音、排ガス対策型です。
レンタルする場合も、最新の対策型を使用しています。



工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称: 道交基幹第73号 森林基幹道開設事業畑山仲木屋線1工区工事
工事期間: 2023年3月9日 ～ 2024年3月24日
工事場所: 高知県安芸市畑山
工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

県道黒岩東浜線のロードボランティア活動を行っています。
(年10回実施)



10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

① 単年度目標 (2024年度)

項 目	総量・原単位	単 位	基準年 5力年平均 2019-2023	2024年度 目 標 2024.1-2024.12
売 上 高		百万円	323	300
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,245	14,480
	原単位	(ℓ/百万円)	47	48
軽油使用量	総量	(ℓ)	101,803	96,710
	原単位	(ℓ/百万円)	315	322
灯油使用量	総量	(ℓ)	504	490
	原単位	(ℓ/百万円)	2	2
電力使用量	総量	(kWh)	21,635	20,990
	原単位	(kWh/百万円)	67	70
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	310,520	298,100
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	961	994
用水使用量	総量	(m ³)	625	610
	原単位	(m ³ /百万円)	2	2
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	15,228	14,470
	原単位	(kg/百万円)	47	48
産業廃棄物排出量	総量	(t)	955	930
	原単位	(t/百万円)	3	3
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	97	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(16件/16件)	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(令和元年度実績)
令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0. 528(kg-CO₂ /kWh)を使用した。
- * 2. 環境負荷の少ない工事
- 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水防止対策の実施
 - 法面緑化工事の実施

② 中長期目標

項 目	総量・原単位	単 位	基準年 5カ年平均 2019-2023	2025年度 目 標 2025.1-2025.12	2026年度 目 標 2026.1-2026.12	2027年度 目 標 2027.1-2027.12
売 上 高		百万円	323	300	300	300
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,245	14,190	13,900	13,610
	原単位	(ℓ/百万円)	47	47	46	45
軽油使用量	総量	(ℓ)	101,803	94,780	92,840	90,910
	原単位	(ℓ/百万円)	315	316	309	303
灯油使用量	総量	(ℓ)	504	480	470	460
	原単位	(ℓ/百万円)	2	2	2	2
電力使用量	総量	(kWh)	21,635	20,780	20,570	20,360
	原単位	(kWh/百万円)	67	69	69	68
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	310,520	292,140	286,180	280,210
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	961	974	954	934
用水使用量	総量	(m ³)	625	600	600	590
	原単位	(m ³ /百万円)	2	2	2	2
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	15,228	14,180	13,890	13,600
	原単位	(kg/百万円)	47	47	46	45
産業廃棄物排出量	総量	(t)	955	920	910	900
	原単位	(t/百万円)	3	3	3	3
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	97	100	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(16件/16件)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

10. 次年度の取組内容
(2) 環境経営計画

期 間 : 2024年 1月 ~ 2024年 12月

項 目		活 動 内 容	担当者	摘 要
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○アイドリングストップ	現場代理人	
		○始業前点検の実施	現場代理人 安全運転管理者	
		○過積載防止（車両）	現場代理人	
		○乗り合わせ・積み合わせ（車両）	現場代理人	
		○アクセル80%（重機）	現場代理人	
		○エコモード設定（重機）	現場代理人	
	電力使用量 削減	○不要な照明の消灯及び空調の停止	横山 有理	
		○OA機器の電源OFF		
		○空調クリーニングの定期実施		
		○節電ステッカーによる注意喚起		
用水使用量削減 （排水量削減）		○節水の啓発	横山 有理	
		○漏水のチェック		
廃棄物削減	一般廃棄物	○分別を徹底し、資源ごみの活用	横山 有理 現場代理人	
		○両面コピーや裏紙の活用		
		○ペーパーレスの促進		
	産業廃棄物	○使用量に応じた資材の購入	現場代理人	
		○できるだけ再資源化処理業者に委託する		
環境負荷の少ない工事		○現場の粉塵、水質汚濁対策	現場代理人	
		○環境性能に優れた機械・車両の使用		
		○リサイクル製品、間伐材の使用		
		○施工の効率化		
環境美化活動		○ロードボランティアの実施	横山 公人	
		○地域の環境美化		
地域貢献・産業振興活動		○職場体験の受け入れ	横山 公人	
		○消防団活動		
		○地域見守り活動		
健全育成活動		○防犯、あいさつ運動	横山 公人	
教育訓練		○緊急時対応訓練	横山 公人	
		○環境経営目標、環境経営計画		

1 1．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法 規 名	適用条項	具 体 的 内 容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第 3 条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	横山 公人	○	2024年1月22日
	第 1 2 条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	現場代理人	○	2024年1月22日
	第 1 2 条の 1 0、1 1 項	多量排出事業者（年間 1, 0 0 0 t 以上） の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	横山 有理	該当なし	2024年1月22日
	第 1 2 条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	現場代理人	○	2024年1月22日
	第 1 2 条の三 7 項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年 1 回 毎年 6 月末	横山 有理	○	2024年1月22日
	規則第 8 条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦 6 0 c m 以上×横 6 0 c m 以上）	必要時	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第 4 条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コン クリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	現場代理人	○	2024年1月22日
建設工事に係る資材の再資源化 等に関する法律 （建設リサイクル法）	第 5 条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建 設資材を使用する努力	必要時	現場代理人	○	2024年1月22日
	第 9 条	○分別解体等の実施	必要時	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
	第 1 0 条	解体：床面積 8 0 m2 以上 新築・増築：床面積 5 0 0 m2 以上 ○対象建設工事は 7 日前までに都道府県知事 に届出				
騒音規制法	第 5 条	○騒音規制基準の遵守	必要時	現場代理人	該当なし	2024年1月22日
	第 1 4 条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始 7 日前までに市町村長に届出）	必要時		該当なし	
振動規制法	第 5 条	○振動規制基準の遵守	必要時	現場代理人	該当なし	2024年1月22日
	第 1 4 条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始 7 日前までに市町村長に届出）	必要時		該当なし	
大気汚染防止法 （解体工事）	第 1 8 条 の 1 5	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無（全て の石綿含有建材）について事前に調査し、発注 者へ調査結果を書面で説明する。	必要時	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
	第 1 8 条 の 1 7	○特定粉じん作業開始の 1 4 日前までに 都道府県知事に届出 解体工事：床面積 8 0 m2 以上 建築物改造：請負代金 1 0 0 万円以上				
	第 1 8 条 の 2 0	○特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は 特定粉じん排出作業において作業基準を遵守				
	第 1 8 条 の 2 2	○元請業者の下請に対する粉じん排出作業を 適切に行うよう指導				
	第 1 8 条 の 2 3	○特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく 発注者に書面で報告と記録の作成保管				
労働安全衛生法 （解体工事）	第 8 8 条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長 宛に提出（着工 1 4 日前までに）	必要時	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
	石綿則第 5 条	○建築物解体等作業届を労働基準監督署長 宛に提出（作業前）	必要時			

法 規 名	適用条項	具 体 的 内 容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
消防法	第 8 条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 (遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出)	必要時	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
	第 1 0 条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第 1 石油類 ガソリン：200ℓ 第 2 石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第 3 石油類 重油：2,000ℓ 第 4 石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
	第 3 1 条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の 1 / 5 以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
	第 1 7 条の 3 の 2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工 1 0 日前	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
	フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第 1 9 条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告	年 1 回	横山 公人	該当なし
第 5 条		○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：3.7kW以上	1 回 / 3 年 1 回 / 年 1 回 / 年	横山 正人	該当なし	2024年1月22日
		○エアコンの簡易点検	1 回 / 3 ケ月		○	2024年1月22日
浄化槽法	第 5 条	○浄化槽の設置の届出	着工 2 1 日前	横山 有理	該当なし	2024年1月22日
	第 1 0 条	○年 1 回の浄化槽の保守点検、清掃実施	年 1 回		○	
	第 1 1 条	○年 1 回の水質検査実施				
特定化学物質の環境への排出量 の把握等及び管理の改善の促進 に関する法律	第 5 条	○化学物質の排出量、使用量の把握	必要時	現場代理人	該当なし	2024年1月22日

(条例)

法 規 名	適用条項	具 体 的 内 容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第 6 条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	横山 公人	○	2024年1月22日
高知県清流保全条例	第 2 条	○事業者の清流保全の努力	必要時	横山 公人	該当なし	2024年1月22日
安芸市火災予防条例	第 3 1 条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の 1 / 5 以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	横山 公人	○	2024年1月22日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年 1月より 2023年 12月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

代表者


1 2. 代表者による全体評価と見直しの結果

■ 定期見直し
□ 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規制等への違反、訴訟はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 特にありませんでした。 前回の是正処置は有効に機能しています。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 特にありませんでした。 ＜改善提案＞ 特にありませんでした。				【環境経営方針】	
				変更の必要性： □有 ■無	
				特に変更はありません。 環境経営方針に基づき、継続して環境負荷の低減に努めます。	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】	
				変更の必要性： □有 ■無	
				特に変更はありません。 目標・計画の達成に向けて、継続して環境負荷の低減に努めます。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント	【その他】 変更の必要性： □有 ■無 特に変更はありません。	
化石燃料使用量削減	△	○	ガソリン車の使用が増加したが、軽油は減少、灯油は初の使用なし。		
電力使用量削減	×	○	約3割増。事務所業務の増加。灯油の使用を止めたのも影響した。		
CO ₂ 排出量削減	○	○	軽油の使用量削減が反映されている。		
用水使用量削減	×	○	過去の集計に不備があり差異が生じた。		
一般廃棄物排出量削減	×	△	現場で発生した木くずを一廃として処理したことが要因。		
産業廃棄物排出量削減	○	○	ほぼ横ばい。現場条件で大きく変わる。		
産業廃棄物再資源化率	○	○	継続して取り組む。		
環境負荷の少ない工事	○	○	継続して取り組む。		
環境美化活動	○	○	継続して取り組む。		
◇達成状況 「○」できている 「△」もう少し 「×」できていない					
＜改善提案＞ 特にありませんでした。					
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 外部からの苦情、要望等はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 特にありませんでした。 ＜改善提案＞ 特にありませんでした。				【総括】 （環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載）	
				今年度は電力使用量が目標に対して3割余り増加したこと、灯油の使用はゼロ、また、一般廃棄物の搬出量が突出したことが目立つ結果となった。電力使用量に関しては、事務所業務が増加していること、暖房の熱源として灯油を止めエアコンを使用したこと、現場事務所での電気使用が発生したことなどが要因である。全体としてのCO ₂ 排出量は、軽油の使用料が減少したことにより削減となった。一般廃棄物搬出量については、これまで事務所から排出される数キロであったが、今年度は河川や道路の維持業務で発生した木くずを産廃ではなく一廃として処分したことにより7トンを超える処分が発生した。用水使用量は、集計の過程で不備があり使用料に差異が生じたが、実質は毎年大幅な差異は生じないと思われる。産廃に関しては、受注した工事内容により変動があるが、適切に管理・処理されているので問題はない。こうちSDGs推進企業にも登録しており、全社を挙げて環境意識を向上するとともに、未達成事項の改善、目標・計画の達成、リスク管理等、システムの有効活用により更なる向上を目指します。	
代表者が自ら得た情報					
特にありませんでした。					